

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	70	—	事業名	成人保健事業	担当部課	福祉部健康推進課
------	----	---	-----	--------	------	----------

基本情報	総合計画	基本方針	3	人がいきいきとつながるまち	会計	1	一般会計
		分野別項目	12	生活習慣病を予防する保健サービスを充実する	款	4	衛生費
		施策の進め方	1	健診・保健指導の充実	項	1	保健衛生費
	まちづくり 行程表	フラッグ	F2	「あんしん」～助けがなかったら生きていけない人は全力で守る～	目	2	予防費
		政策分類	7	健康づくりの輪を広げ、いくつになっても元気で輝く	大事業	3	成人保健事業
	その他(関係法令、要綱等)		健康増進法				
事業開始の背景、経緯等		生活習慣病を予防する対策の一環として、疾病の早期発見・早期治療によって市民の生涯にわたる健康の保持増進を図ることを目的とし実施。					

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 市民が自分の健康状態を確認し、疾病の早期発見・早期治療によって、健康の保持・増進を図る。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市民の健康の保持・増進を図る。					
	事業を構成する事務事業	① 健康診査事業	拡充	④			
	② 検診事業	拡充	⑤				
	③		⑥				

コスト推移	項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	事業費(A)	千円	決算	予算		97,552	120,307	123,451
決算					95,051	113,949	129,554	
人件費(B)	千円	決算		—	23,955	23,999		
総コスト(A)+(B)	千円	決算		—	—	137,904	153,553	

成果推移	成果指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	A 健康診査受診者数	人	目標	—	—	29,201	29,607	30,209
			実績	—	—	29,607	30,209	
	B		目標					
			実績					
	C		目標					
実績								
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 疾病の早期発見・早期治療のため、受診者数増加を指標とする。								
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 他市町においても同様に実施している。
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 各取組の実績は、39歳以下健診309人、一般健康診査5人、胸部検診6,637人、胃検診4,468人(X線3,858人、内視鏡610人)、大腸6,454人、前立腺がん2,312人、肝炎ウイルス479人、眼底4,680人、喀痰44人、子宮2,068人、乳腺1,983人、歯周病770人。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 事業の普及・啓発を図り検診受診者増加を図ることが課題である。

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 市民自ら健康の保持・増進に取り組めるよう事業を実施する。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 継続して受診者数増加を目指す。

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		成人保健事業										
番号	①	事務事業名	健康診査事業		款	4	項	1	目	2	大事業	3	中事業	1
事務事業の期間	事務事業開始年度		昭和62年度		終了（予定）年度	—								

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 39歳以下の方を対象とした39歳以下健診、生活保護受給者を対象とした一般健康診査を実施。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 疾病の早期発見・早期治療によって市民の健康の保持増進を図る。

2. コスト推移

項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事業費	千円	予算 決算		2,689 1,642	3,161 1,645	2,924 1,587	3,070
＜事業費の主な内訳（当該事業年度）＞							
① 39歳以下健診委託						1,502	千円
② 一般健康診査委託（生活保護者分）						34	千円
③ 印刷製本費						26	千円

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
受診者数	人	目標	—	—	383	376	314
		実績	—	—	376	314	
		目標					
		実績					
＜備考：活動の概要（当該事業年度）＞【受診者数】							
<ul style="list-style-type: none"> ・39歳以下健診309人 ・一般健康診査（対象者：生活保護受給者）5人 							

4. 事務事業を取り巻く環境変化

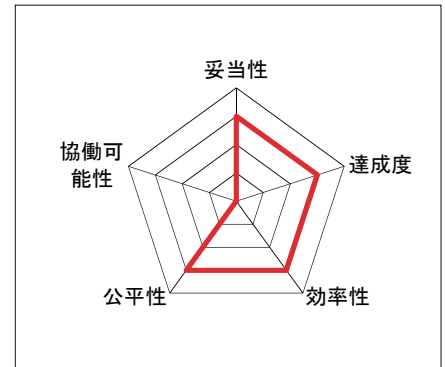
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
39歳以下及び、生活保護受給者を対象とする健康診査は、健康の保持・増進のためニーズがある。

5. 前年度からの改善状況

＜参考：前年度の事務事業評価のコメント＞
※新規行政評価対象
(何をどのような状態に改善したのか)
—

6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	3
公平性	3
協働可能性	—



【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)
39歳以下や生活保護受給者の疾病の早期発見・早期治療に繋がった。

【ウイークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)
受診者数が前年度と比較し、事業全体で62人減少したため、事業の普及・啓発に努め、受診者の増加を図ることが必要である。

7. 今後の方向性

拡充

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
市広報、各種事業を通じて普及・啓発に取り組み、受診者の増加を図る。

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

				事業名	成人保健事業									
番号	②	事務事業名	検診事業		款	4	項	1	目	2	大事業	3	中事業	2
事務事業の期間	事務事業開始年度		昭和41年度			終了（予定）年度		—						

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	市民を対象に、胸部、胃、大腸、前立腺、肝炎ウイルス、眼底、喀痰、子宮、乳腺、歯周病検診を実施。
意図	(対象をどのような状態にしたいか)
	疾病の早期発見・早期治療によって市民の健康の保持増進を図る。

2. コスト推移

項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事業費	千円	予算	94,863	117,146	120,527	145,089	
		決算	93,409	112,304	127,967		
<事業費の主な内訳（当該事業年度）>							
① 胃検診委託					46,628	千円	
② 肺がん検診委託					18,054	千円	
③ 子宮がん検診委託					12,849	千円	

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
受診者数	人	目標	—	—	28,818	29,231	29,895
		実績	—	—	29,231	29,895	
		目標					
		実績					
<備考：活動の概要（当該事業年度）> 【受診者数】							
胸部検診6,637人、胃検診4,468人（X線3,858人、内視鏡610人）、大腸6,454人、前立腺がん2,312人、肝炎ウイルス479人、眼底4,680人、喀痰44人、子宮2,068人、乳腺1,983人、歯周病770人。							

4. 事務事業を取り巻く環境変化

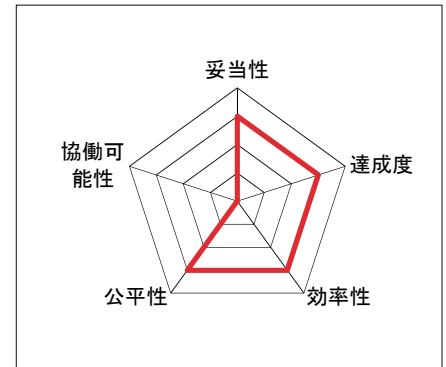
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
各種健康診査は、健康の保持・増進のためニーズがある。

5. 前年度からの改善状況

<参考：前年度の事務事業評価のコメント>
※新規行政評価対象
(何をどのような状態に改善したのか)
—

6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	3
公平性	3
協働可能性	—



【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)
受診者数が前年度と比較し、事業全体で664人増加した。

【ウイークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)
各種検診の内、子宮検診については前年度より受診者数が減少しているため、事業の普及・啓発に努め、受診者の増加を図ることが必要である。

7. 今後の方向性

拡充

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
子宮検診について、市広報、各種事業を通じて事業の普及・啓発に取り組み、受診者の増加を図る。